

人の可能性を照らせ。



令和4年10月13日  
株式会社 QD レーザ

## CEATEC2022 の TDK様ブースでスマートグラスを公開します

10月18日から行われる CEATEC2022 の TDK 株式会社（本社：東京 以下 TDK）様のブースにおいて、TDK 様、日本電信電話株式会社（本社：東京 以下 NTT）様と QD レーザが共同開発したフルカラーレーザ集積光源を搭載したスマートグラス（社内コード RETISSA displayⅢ）を公開します。超小型フルカラーレーザモジュールをメガネフレームに内蔵し、フラットミラーでレーザ網膜投影するもので、視力にかかわらず AR 効果を実現します。QDレーザの「見える」の世界を拡張する領域の取り組みであり、今後は VR やメタバース社会の普及に向けて開発につなげてまいります。

TDK 様と NTT 様と QD レーザは、スマートグラス用レーザ集積光源を共同開発し、10月18日から行われる CEATEC2022 の TDK 様ブースで公開し、ご来場者に体験していただきます。この光源が搭載されるスマートグラスは、①TDK 様が開発中のフルカラーレーザモジュールを眼鏡フレームに格納し、QD レーザの技術により②視野角をこれまでの約2倍に拡大した画像を③フラットミラーで投影するという特長を有しています。

このスマートグラスを装着すると、実在する風景に文字や映像などの視覚情報が重ねて表示される AR (Augmented Reality, 拡張現実) の効果を体感できます。現在 QD レーザが開発・製造・販売している RETISSA のレーザ網膜投影技術と装置を採用し、ピントの合った映像を網膜に直接投影するため、装着者が近視・遠視・乱視・弱視などを有していても、ピントの合った画像が得られます。

### ■CEATEC2022

毎年10月に幕張メッセで開催されるアジア最大級の規模を誇る IT 技術とエレクトロニクスの国際展示会です。今年は「経済発展と社会課題の解決を両立する「Society 5.0」の実現を目指し、あらゆる産業・業種の人と技術・情報が集い、「共創」によって未来を描く。」ことを開催趣旨として、オンラインと幕張メッセで行われます。

名称：CEATEC 2022 (シーテック 2022)

場所：オンラインと幕張メッセ

会期：オンライン 10月1日～10月31日

幕張メッセ 10月18日から10月21日まで

入 場 料： 無料 ※入場にはオンラインでの登録が必要です。

公式サイト: <https://www.ceatec.com/ja/>

### ■3社の共同開発

TDK 様の HDD(ハードディスクドライブ)用磁気ヘッド向けに開発した新たな高精度光学アライメント技術と、NTT 様の光通信用平面導波路技術によって、従来製品比で 1/10 という超小型・軽量のフルカラーレーザーモジュール(Full Color Laser Module:FCLM)が共同開発されました。QD レーザはレーザー網膜投影を実現する広視野角の薄型フラットミラーを独自に開発するとともに、スタイリッシュな眼鏡フレームに FCLM を使ったレーザー網膜直接投影装置を内蔵し、スマートグラスが実現しました。



スマートグラス試作機(上:片眼、下:両眼)。広視野角の薄型フラットミラーを搭載しています。

### ■TDK 様ブース

TDK 様ブースで、製品名「超小型レーザーモジュール」とスマートグラスを展示します。ご来場者は片眼スマートグラス(右図)と、両眼へのレーザー網膜投影による AR を体験できます。TDK 様特設サイトにおける将来の製品イメージ動画:

[https://site.tdk.com/ceatec2022\\_exMovie/ceatec2022\\_13\\_02\\_D01?pid=6312426043112&play=nAmKMRGRK&elqTrackId=80b48d82a3ec4e2ca22c029e1904e4f3](https://site.tdk.com/ceatec2022_exMovie/ceatec2022_13_02_D01?pid=6312426043112&play=nAmKMRGRK&elqTrackId=80b48d82a3ec4e2ca22c029e1904e4f3)

### ■QD レーザの取り組み

QD レーザは、世界に先駆けて製品化したレーザー網膜投影技術を①見えづらいを「見える」に変える②「見える」の健康寿命を延ばす③「見える」の世界を拡張するという 3 つの領域で活用する取り組みを進めています。この度のスマートグラスは社内コードでは RETISSA Display III であり、3 つ目の「見える」の世界を拡張する領域の取り組みです。今後はAR/VR (Virtual Reality バーチャルリアリティ仮想現実)やメタバース社会の普及に向けて開発を進めてまいります。

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

メール:retissa@qdlaser.com

以上